

## News Release

2016年8月18日

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

# 企業のサイバーセキュリティに関する動向を分析 ～標的型メールの侵入リスクはゼロにはならず、 それを前提とした多層防御が必要～

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小田島 潤、以下「NRIセキュア」）は、自社が顧客企業等に提供した情報セキュリティ対策サービスを通じて蓄積したデータ<sup>\*1</sup>を元に、最新の動向分析と推奨する対策を、「サイバーセキュリティ傾向分析レポート 2016（以下「本レポート」）」としてまとめました。本レポートは、企業や公的機関の情報セキュリティ対策の推進を支援する目的で、2005年度以降、毎年発表しており、今回で12回目となります。

今回のレポートで注目される点は、以下の4つです。

### 1. 標的型メールを開封してしまう割合に大きな改善は見られない

2015年度に実施した「標的型メール攻撃シミュレーション（標的型メールへの対応訓練）」サービスの結果を分析したところ、およそ従業員は8人に1人、役員は5人に1人が標的型メールに添付されたファイルを開いたり、URLをクリックしたりしてしまうことがわかりました。この割合は、過去3年にわたり、大きな改善が見られず、標的型メール攻撃は依然として脅威であると考えられます。

攻撃メールの巧妙さは徐々に増し、受信者が気づくことが難しくなっています。したがって、受信者が標的型メールを開封してしまう前提で、企業内での対応を整理したり、システム面での予防/検知策を導入したりするなど、対策を多層的に検討していく必要があります。

### 2. マルウェア付きメールの流入には多層にわたる防御策が重要だが、添付ファイルの拡張子による制御などが効果的な場合もある

2016年2～3月にかけて、NRIセキュアが管理するウイルスチェックサーバでは、マルウェア付きメールの検知数が急増しました。その9割以上が、ワードやエクセルなどマクロが付加されたオフィス文書とスクリプトファイル<sup>\*2</sup>であったことが分かっています。大量にマルウェア付きメールが配信されると、高度なマルウェア対策製品では処理量の急激な増加によって高負荷状態に陥り、業務メールの配信遅延につながる可能性があります。このような場合、多くの企業で既に導入されているスパムフィルタリング製品などによる拡張

子規制を用いることで、効率よくマルウェア付きメールの流入を防ぐことができます。

マルウェア付きメールの対策には、スパムフィルタリング製品やアンチウイルス製品など複数の手法を多層的に用いる必要があります。さらに攻撃の状況に応じて各層の構成や設定を定期的に見直し、マルウェアの侵入リスクを効果的に低減することが重要です。

### 3. Web アプリケーション<sup>\*3</sup>が抱える危険度の高い脆弱性の約 3/4 は、機械化された検査では発見できない

2015 年度に実施した「Web アプリケーション診断」で危険と判定したシステムの 75.2% は、あるユーザが他のユーザになりすましてシステムを利用できたり、一般ユーザが管理者用の機能を利用できたりするなど「アクセスコントロール」に関する問題を抱えています。このような問題を検査するためには、個々のアプリケーションの仕様を踏まえての検査が必要であり、機械化された検査だけで発見することは困難です。

### 4. 企業が把握している外部向け自社 Web サイトは半数

2015 年度に実施した Web サイト群探索棚卸しサービス「GR360」で、企業が自社で管理すべき外部向け Web サイトを調査したところ、一元的にその存在を把握できていた Web サイトは半数にとどまっています。この割合は、3 年間ほぼ同じであり、多くの企業で自社の Web サイトを把握できていない状況が未だに続いている可能性があります。Web サイトの存在を把握できていなければ、脆弱性を悪用する攻撃への対策が十分に実施できず、Web サイトを改ざんされるなどの被害につながる恐れがあります。

「サイバーセキュリティ 傾向分析レポート 2016」の詳細については、下記の Web サイトを参照ください。

<http://www.nri-secure.co.jp/security/report/2016/cstar.html>

\*1 本レポートで分析対象としたデータ：

NRI セキュアが、2015 年度（2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日）に、顧客企業に提供した情報セキュリティ関連サービスから得られたデータ。分析対象としたサービスは、マネージドセキュリティサービス（FNC セキュアインターネット接続サービス、FNC セキュア Web ネット管理サービス）、セキュリティ診断サービス（プラットフォーム診断、Web アプリケーション診断、スマートフォンアプリケーション診断、PCI DSS 認定スキャンサービス、Web サイト群探索棚卸（GR360）、標的型メール攻撃シミュレーション）

\*2 スクリプトファイル：

コンピュータプログラムの一種

\*3 Web アプリケーション：

インターネットやイントラネットなどのネットワークを介して使用するアプリケーションソフトウェア、Web ブラウザを介して利用できるアプリケーション

**【ニュースリリースに関するお問い合わせ】**

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 松本、海藤

TEL : 03-6270-8100 E-mail : kouhou@nri.co.jp

**【レポートに関するお問い合わせ】**

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社 サイバーセキュリティ事業開発部 西田  
広報 根本、西谷

TEL : 03-6706-0622 E-mail : info@nri-secure.co.jp